



# 桐医会会報

1993. 2. 12 No. 33

## 卒後10年を迎えた3回生



卒業の時に植えた木の前で 1992. 5. 23

---

### 主な目次

---

特集を組むにあたって .....	1	10周年によせて .....	5
入学前 .....	1	編集後記 .....	16
卒業まで .....	2		
卒業後の10年 .....	4		

---

## 特集を組むにあたって

一つの年度の卒業生に的を絞って特集を組むのは今回が初めての試みとなります。何故こんな企画をするようになったかと申しますと、今年6月の桐医会の役員会の時だったと思います。会報の特集を何にしようか、ということで行き詰りました。総会・最終講義・学群だより等だいたいの内容が決まって来ていましたので、なんとか身近な題材でないだろうかということで考え出されたものが、各学年の特集ということでした。本来ならば、第一回生から順番にということで始めていけばよいのでしょうが、今年は第3回生の卒業10周年記念となりましたのであります。そこで我々からスタートさせて頂くことにしました。さらに33号という3が重なっているのもその理由の一つでした。10周年にこだわらずに、各学年で特集を組んでみませんか。

一般的には3回生は昭和57年3月に卒業した94名をさしますが、我々は共に学んだことのある人全部を含めていますので、100余名を名簿に入れていることを加えておきます。

平成4年12月

## 入学前

昭和49年・50年に関しては、1回生と2回生におまかせざるをえないのですが、幸か不幸か1回生に弟(現在臨床医学系整形外科勤務)がいましたのでその時の話をしましょう。1回生の入試は3次試験までありました。通常のマークセンスの1次試験と筆記の2次試験、これで150人にしばらくして3次試験の面接があったわけですが、50人の落第はかわいそうだな、と思っていました。運よく(?)合格し、入学のあと「代々木で合宿がある」といい出かけていきました。何でも建物がまだ未完成なのでしばらく昔のオリンピックの選手村で合宿をするのです。筑波大学はその設立からして国会でだいぶもめましたので、完全に管理された大学というイメージが強く、世間の注目の

的でした。家族の間でも「あれは洗脳合宿だ、合宿が終わったらきっと目つきが変わってくるから注意しよう」と半ばまじめに話をしていました。結果的には合宿前よりくだけた感じになってきましたので親戚一同ほっと胸をなでおろしました。

その後のことはよくわかりませんので1回生・2回生におまかせします。

さて、私が筑波大学の入試を受ける時の、大学の印象ですが、受験の書類を送った時に事務から電話がかかってきました。「この健康診断の書類は困りますが」というのです。当時は健康診断書は現役の諸君には必要なく、浪人生のみになっていましたので大学の書式がついていませんでした。私はあらかじめどういう書式がいいのかを問い合わせていました。その時の返事が「決まった書式はなくとにかく異常がないことがわかれればいいですから」ということでしたので、「特に異常を認めません」と記載してある診断書を保健センターで書いてもらいました。でもそれでは困るというのです、どう困るのかはよくわかりませんので、「どういうふうに書けばいいですか」と質問しましたが、明確な答えが返ってきません。そのうち「では、交通信号の色を左から順番にいって下さい」といわれて啞然としました。御存じのように信号の色の順番は決まっています。それを電話で答えさせるというのですから、変な大学だなあ、という印象がまだ頭に残っています。結局、入試の当日に所定の場所に行くようにということになりました、参上しましたが、2、3質問があつただけで終わりました。私の頃はまだ大塚のキャンパスで入学試験が行われておりました。

さて我々の頃は2次試験で筆記試験・小論文の他に面接がありました。前日に弟が来て「ひげは嫌われるから絶対剃っていくように」といわれました(当時、合格するまでは、と5ヶ月程伸びていましたので、むさくるしく見えたのでしょうか)。でもそのまま面接をしましたので、合格発表まで気が気ではありませんでした。

さらに、合格発表の前日です。弟を含めた1回生が我が家に来て東医体の相談をしていました。

何でも、どうやって会費を集めようか、いつ集めるか、いくらにするか等々。発表の前日でいろいろしている受験生の前で何ということだ、と思つても、「だいじょうぶですよね」といわれれば、「まっ、まあ何とか」と返事をしておりました。でもお陰様で何とか合格できましたので今では笑い話ですますが。

### 卒業まで

入学してからの事は、手っ取り早いので卒業アルバムを見返してみました(アルバム編集委員もやっておりました)。入学した昭和51年にはまず学群棟以外の建物が完成していませんでした(写真1)。我々は学群等の1階より出入りし、スリッパに履きかえていました。ぬかるみも多く長靴は必需品となっていました。

この年はいろいろな設備が充実したときでした。新しく出来た追越宿舎で、7月には風呂・食堂・売店・喫茶が開店しました。研修センターの食堂「グリル紫峰」が出来たのもこの年ですし、天久保ショッピングセンターが出来たのもこの年でした。夏休みを過ぎると宿舎からゆりの木通りの上を横切って学群棟に向かう陸橋が出来ました(写真2)。この陸橋のおかげで危険をおかして通りを横切ることをしなくて済むようになりましたし、長靴もいらなくなりました。

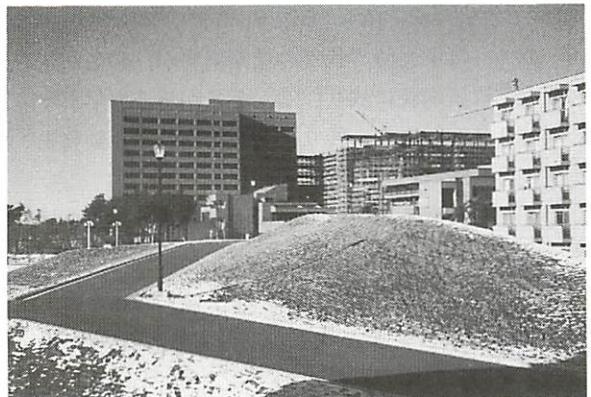
更に病院が出来たのも我々が入学した昭和51年だったのです。10月1日が開院でしたが、学系棟はまだ出来ていませんでした(写真2)。建設途中の病院に入り込んで撮った写真もいくつかあります(写真3・4)。10月1日はまた開学記念日でもあります。図書館・書籍部・喫茶・食堂もこの時期にオープンしたと思いますので、医学群の近辺でほとんどの用が足りることになりました。我々3回生の入学の年が医学の全活動の幕開けの年だったといってよいと思います。でも病院と学系棟はまだ完全にはつながっていません(写真5)。3回生は1回生・2回生と比べて大きな違いがあります、といってもこれは私だけが特に感

じていたことだと思いますが、それは入学時の平均年令でした。1回生・2回生の年令は非常にバラエティに富んでいました、現役の18才から30過ぎのおじさん・おばさん(失礼、私が言ったのではありません)まで幅広く分布しておりました。一説によりますと平均年令は23才とも24才ともいわれていたそうです(本当かな?)。ところが3回生をみると現役・一浪が100人中96人だったかと思いますので、ものすごい若返り現象ですが、3回生から急にこのようになったのかはわかりません。何故こんなことにこだわるかと申しますと、現役の諸君と比べると私は6才ほど年が上になってしまいます。1回生・2回生の傾向がそのまま3回生にもあてはまる、私は中堅どころであまり目立たない存在となる筈でしたが、不幸なことに、最年長者となってしまったのです。入学して私が一番がっかりしたことでした。

さて、卒後の進路で困ったことは、大学病院に残るのは(成績の優秀な?)40人だけということでした。後の60人は外の病院に出るか、大学院に進むしかありませんでしたので、いろいろ悩むことが多かったと思います。大学は症例が少ないから残ると損だとか、6年間で追い出されてしまうだとか、大学院にいっても研修の期間は卒後6年だから後2年間しか残らなくなってしまうだとか、色々でした。そんなこんなで結局約60人の卒業生は何らかの形で筑波大学附属病院以外で卒業後をおくったわけでした。

①

②



③

④



⑤

## 卒業後の10年

さて、卒業当時の我々の進路ですが、40名が筑波大学附属病院に残り(?)、7名が筑波大学大学院、2名が厚生省、残り45名が外病院に勤務先が決まりました。

3回生の卒業については桐医会会報のNo 4を見て頂けると詳しいのですが、No 4をお持ちの方はまずいらっしゃらないと思いますので内容を簡単にお紹介致します。我々が期待と不安を胸に卒立っていった頃のものです。

### 1) 第3回卒業生だより

卒業にあたって(山本温子),

“本当に大丈夫でしょうか”(八十嶋弘一)

これまで、そして、これから(宮川創平),

ダンスあれこれ(福内敦),

卒業にあたって(野口雅之),

ある友人の思い出(加藤昌明),

今はまだ別に何も(江口清),

「つっぽり」と「ぶりっこ」(磯博康),

筑波での6年間(阿久津勉)

### 2) 第3回生内定先

### 3) 第3回生追い出しパーティー

### 4) 記念植樹

前項で述べました植樹です。植えたときは約3.5メートル程でしたが(写真6)，表紙の写真のように10年間で大分大きくなりました。20周年のときにまた更に大きくなり、学群棟を越えるかもしれません。

さらに、この年に「3回生から後輩諸君へ」という小冊子がでました。これは現在もなお続いているわけです。内容を紹介しますと、

### 1) 桐医会会長のあいさつ(山口高史)

### 2) カリキュラムについて(磯博康)

### 3) 進路問題

筑波大学附属病院レジデント(松村高幸),

他大学附属病院研修医(関藤典子),

学外病院研修医(福内敦),

基礎系大学院進学(佐藤眞一郎),

臨床系大学院進学(島倉秀也),

厚生省医系技官(大久保一郎),

女性の立場から(東野英利子)

### 4) ECFMGについて(小山完二)

### 5) 国試体験記

あなただけは受かって欲しい(石川成美),

妻子と共に(宮川創平),

C問題集に批判を添えて(古川雄祐),

国試前9ヶ月を振り返って(安井恵子)

### 6) 医師国家試験について(湯沢賢治)

10年もの間、我々はあちらこちら点々としました。いまだに転勤・引っ越しが多いのが現状です。安定したものになるにはまだまだかかるでしょう。どういう形で書けばいいのかわかりませんでしたので皆さんの意図するところと異なるかもしれませんのが、数字をいくつか挙げてみました。できれば10年後にまた特集を組みたいと思いますので、よろしくお願い致します。

筑波大学スタッフ・・22名(退職者を含む)

海外留学経験者・・26名

## 3回生からのメッセージ

なるべく多くの人達に参加をして頂くために、はがきでメッセージをおくってもらいました。次ページより御紹介致しますが、スペースが小さくて申し訳ありませんでした。10年間を振り返ってもらいましたが、既に10年たってしまった方・これから10年を迎える方の参考となれば幸いです。



氏名	足立信也
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>毎年 8月の、盆の次の 火曜日に、3回生ゴルフコンペと やります。今年は私が幹事 です。参加希望の方は 連絡下さい。</p>	

氏名	阿久津 錦
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>医師として10年たってしまったという かんじで、何かをしていか! 得ていか いう意識がないのは、自分の怠慢 であると思う今日、この頃ではあります。 どうしても風の前の「生活」 に追われて、立夫をしてしまつります。</p> <p>これから生き十年何をしている でいいのか。筑波は近くで遙い ところへ召された。</p>	

氏名	厚美直季								
近況報告・10年に寄せて・その他									
<p>I. 1992年小児循環器外科まとめ (筑波大学医学部)</p> <table border="0"> <tr> <td>総手術数</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>1歳未満</td> <td>22(37%)</td> </tr> <tr> <td>人工心肺使用症例</td> <td>32(53%)</td> </tr> <tr> <td>手術死亡</td> <td>3(5%)</td> </tr> </table> <p>→ HLHS: 2, IAA, VSD, DAS: 1 全く少しくなりますが、同級生に いろいろとかけられています。</p>		総手術数	60	1歳未満	22(37%)	人工心肺使用症例	32(53%)	手術死亡	3(5%)
総手術数	60								
1歳未満	22(37%)								
人工心肺使用症例	32(53%)								
手術死亡	3(5%)								
<p>II. 家庭 結婚は10年、子供2人、8歳、 1歳、いずれも男</p>									
<p>III. 読書 飲みすぎ、運動不足</p>									
<p>IV. 最近みるといふこと TVのカラー、社会情勢の本</p>									
<p>V. 連絡 住所変更届け込みおいて下さい。</p>									

## 雨海照祥

卒後7年間お世話になった順天堂大学で、「10年間は同じ道で辛抱しろ」といわれ、何の深い考えもなく、ただこの言葉を守りました。今その10年が経ち、縁あってまた母校に戻り、最初に気になったのは我々の代に興した『基臨社祭』の事でした。しかし思った以上に健全な運営が行われている話を聞き、外から見ていた筑波パワーを再認識致しました。

今後の10年は我々の先見性・行動が、医学を引っ張る力として必要とされる気がします。20年後に各々の分野で、同級生の花が開いている事を念願しています。

氏名 石川 成美

近況報告・10年に寄せて・その他

昨年(平成13年)9月に、  
NYより戻り、横濱大学  
呼吸器外科にあります。  
NYでは卒業後はじ  
め2、助川(旧姓・田中)さん  
八十島さん、福内君、御夫  
妻と、お会いすることできま  
せんで。

氏名 機部 剛志

近況報告・10年に寄せて・その他

今春から星立にて  
病院へ勤務しています  
やつし、雪羽一連の  
講壇を行なう4年2月  
出合づてであります。

氏名 井上 雅樹

近況報告・10年に寄せて・その他

現在県西総合病院内科に  
勤務しています。  
10年前を、少しかえると  
河北→結研→大学院(呼吸)  
→北茨城→市原→県西と  
色々な病院をまわりましたが、より先生方  
にめぐらされて 大変楽しく充実した  
生活をしてきたと思います。  
しかし何よりもよかったですのは、やはり  
大学時代にいたときに遊んだ親友た  
る(どつぱー会)の存在でしょうか。

氏名 伊藤 政美

近況報告・10年に寄せて・その他

4月より笠立病院  
の医長になりました。年内  
手術300回を目指して、後  
輩に支えてもらっています。

氏名 大久保 一郎

近況報告・10年に寄せて・その他

この10年間に、統計情報部衛生統計課、保健医療局国立病院課、ペニシルベニア大学留学、保健局医療課へ経験してきました。それから全く異なる仕事を携ったが、中でも特に、留学中に臨床経済学を学んだこと、医療課で2回の診療報酬改定を行ったときに強く残っています。この5月より健康政策局指導課に移り、救急医療、また医療監視を担当することになる。10年を振り返って、臨床とは全く別の世界も悪くはないようです。

氏名 八一川 功

近況報告・10年に寄せて・その他

茨城県西部にみ子猿島協同病院で外科長をやつづけ。筑波大出身の先輩や後輩のドクターは束まれ毎日気分良く仕事をしております。

氏名 笠松 高弘

近況報告・10年に寄せて・その他

東京大学・産婦人科部教室へ入局して10年がたちました。  
腫瘍中心の研究室へ入り、学位取得しました  
2年前より 東京都老人医療センター 産婦人科  
医長として勤務しております。

筑波大の医学専門学科とは、やや疎遠になってしまいますが、筑波大学・体育会アメリカンフットボールOB会員を務めさせて顶いており、同期の諸陶君と秋のリーグ

戦を楽しんでおります  
おかげ様で、アメリカンフットボール部も、一部に応援し、甲子園本塁周辺に勝利しております。

氏名 相木 万寿男

近況報告・10年に寄せて・その他

85年卒業後、東大分院小児科入局し、小児の肝疾患を専門として研修し、武蔵野日本、東大分院医直を経て、86年6月より研究のため、東大第一内科一研にうつり、糖脂質と肝疾患（自己免疫性肝炎、肝カリウマーマ）にて、平成3年2月に、東大医学博士の学位を取得了。この間、東京中病院、中野共立病院（専門：内科学）で診療に従事しました。  
来年は、肝炎ウイルスと専門となる研究室へ留学する準備を進めています。また、86年には結婚し、現在、2才10ヶ月の10ヶ月の2男（男児）の父となりました。西武新宿の下井草駅徒歩十分くらいのところに住んでいます。

氏名 加藤 昌明

近況報告・10年に寄せて。その他

国立精神・神経センター武藏病院に勤め5年がたちました。自下てんかん専門の病棟でてんかんの診療に明け暮れています。てんかん専門外来もありますので、機会があたら患者を紹介して下さい。

家庭は6才男子と1才女子を団みにぎやかになっています。

宮川さん いつもご苦労様です。

氏名 上井 義之

近況報告・10年に寄せて。その他

卒後10年 ふりかえりふうど

その1 卒業時志した小児外科を開けることがでした。(ホン)一応小児外科学会認定医となり、次日指導医になりました。

その2 東大研修医1.5年

藤枝市立志太総合病院2年  
東大 小児外科 2年

その3 現在の国立小児病院外科へ  
(まだ5年?)  
臨床経験豊富? Research歴 poor!!

その4 結婚→娘1人 猫2匹

その5 30代後半になり、孝子ことあり

Bikeにのらなくなり、パソコンにのらう---

氏名 桐山 功

近況報告・10年に寄せて。その他

1980. 4月より、三河北総合病院の  
精神科に勤務していました。  
比較的卒後すぐ三河北へ  
勤務するも、その後、大学等に就職す  
るパターンがタレーフィルカで、いつま  
ま私は、その他のコースでたどり、本  
筋に至りました。人間をめぐる  
卒後の研修や就職のあり方  
があるかと思ひます。私は、  
現状の状況には満足しております。  
厳しい昨今の医療事情のほか、  
碧海大卒といつも眞面目か、今後  
も問いかけていくと思われます。  
かんばって行きたいと願っております。

氏名 長山 直也

近況報告・10年に寄せて。その他

こひさにいまります  
富山へ移る28年1月から  
宇内産学併せとなり、現在  
は、脳血管内手術を専門  
とするより、脳外科より  
が、メスはござります。カナーネルを  
片手に診療をやっております。  
昨年(平成3年)碧海渡へ久し  
ぶりに行きました。あまりの変化  
ううい驚いてしまったです。  
皆さんお元気で、やつから小さ  
ゆ、会話をいつそ樂しく拝見  
てわります。

氏名	坂本 善郎
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>順天堂大・泌尿器科に勤務し 10年になります。4年前は順天堂に 入り、現在は臨床にむづつになります。 北川教授も来年3月で定年退官 されるため、忙しい毎日です。</p> <p>今後の予定(進路)は未定です。 同窓会に出席しないと思います。 難いかもしれません。</p> <p>皆様の御活躍をお祈り申し上げます</p>	

氏名	斎藤 正博
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>自費と体産の増加と日々戦ってお ります。3人体制、医長として仕事を しているのですが、自分の診療ばかりで なく、後輩の指導や病院の運営に と悩む事は多いのですか。なぜ体 産は減らなくてはいけないのか。</p> <p>毎年6月から9月までアユ釣りに 没頭しておりませんが、何と6月10日ま で筑波大学に勤務を命ぜられ、 泣き笑いの心境です。今後もよう くお願ひします。</p>	

氏名	佐藤 治一
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>皆様 お元気ですか。 私にとってこの10年は9年 で1年です。大学の7年であと 6年です。何倍も10年分になりました ありました。(空虚にて)相手はいた 總じて良いことの方が多い。 30歳までは500件の開腹術を させてもらったこと、110cmを10cmの ところより研究をさせてもらいました 手術もできました。(Lancet に載った) 35歳にはTJ31-1号を112枚、7歳まで タービニモードで天皇室と在位したとき もう31歳で種々生活に入り後輩を育てる</p>	

氏名	佐藤 真一郎
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>他大学「医学部」出身者の中にあって 彼らの人的資源の活用、組織・制度等に対する 考え方があのほど大きく違っていることに 気が付いています。</p> <p>筑波大卒業生として「良質の医療の供給」という 最終目標を忘れずに努力してゆきたいと思ってます。</p> <p>4月に結婚しました。住所変更手続をお願いします 〒262 千葉県千葉市花見川区 西小中台 5-14-405 043-275-7078</p> <p>勤務先 科学技術省 放射線医学総合研究所 〒263 千葉市稻毛区穴川4-9-1 043-251-2111</p>	

氏名	島倉秀也
近況報告・10年に寄せて・その他	
昨年(1991)6月に半回	
留学(立教大学)へ帰国し、	
→くわせにて病院内斜部見 ていう後職をもじり、田舎へ 診療を開け、あていう間に 1年5ヶ月をたつほいこれ。 一度の開業を考えられ、宮川博士 先生が開業、家の近くに向か クリニックが建つて、開業され て、状態もよくなっています。 研究職へ返り咲のが一番がよ く思ひます。	

氏名	陶山 時彦
近況報告・10年に寄せて・その他	
宮川先生にはいつも大変お世話を なり、誠にありがとうございます。こちらは あまりお役に立てず申し訳なつかまつ てです。	
私は卒業後2年3ヶ月(1971)、三河鉄道病院 病院内科で研修、その後太田病院 で呼吸内科医局へもどりました。 途中半年ほど福井核研究所附属病院 いた後、H.1年10月より現在まで岐阜県 食病院内科にいます。 私は卒後まだ1年たつ、24歳未満で、 の友人達と毎月「ドリ大会」として旅行をして おり、すでに10回をかこえました。メンバーは 12~15人です。今年度初めて家族でキャンプに 行きました。この先どうなるかわかりませんが、 同期生が多數なのは心強いかなと思います。 今後ともよろしくおねがいします。	

氏名	山内 啓子
近況報告・10年に寄せて・その他	
去年4月埼玉の三郷市に開業 しました。慣れないところから始めて はじめは、こんなやうでいいのか、今では 子供と一緒に居る時間が増え、良かっ と思えてます。	
主人の単身赴任が長くありますので、 女一人で子供2人育てながら開業して、 日々丁寧な接客ばかりでした。す、か、 「オバタリアン」になってしまったと思ひます。 誰か似てる(?)子供がやんぬする 仕事を済ませ、このままひきずりやがれ 勉強の方は細く表く女子医師の方も 研究室やらせしらへます。	

氏名	桃田 敏子
近況報告・10年に寄せて・その他	
10年たつと休止、 夫の転勤に伴う。この4月から休職、 1. 2人の娘に付合ひます。	
"10年たつ"は「専業主婦」とよば れ、2人ともす、れ、り、夫ちゃん返さない 12.5m、ました。	
子供たちが落ちつけは、少し 11.12.と思ふます。	

氏名	近藤 文夫
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>鈴波メディカルセンター 病院 におひで、日危 緊急手術に 向かってます。</p>	

氏名	東野 英利子
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>鈴波記念病院 放射線科に勤務 して1年と数ヶ月が過ぎ、戦場の ような忙しさに日々と慣れてきました。 10年ひと昔と言えますか。自分ではまだく らいでいないうちだったのですか。 先日卒業旅行の写真を見て幼少時に 懐かしくしました。今年は学会で卒業旅行 を行ったキリシャを再び訪れることがひき ました。青い海と白い家はしばし時の たつのを忘れさせてくれるようでした。</p>	

氏名	野末 瞳
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>結婚して10年。妻もそれなりに体型 をくずしているが、町内運動会で少年 に出たいと思うファイトはあるよどり ある。 長男 大智は8才。計算カテストで100点 はとったことがなく、飛車角扳までも 私に勝てない。 長女 遥は7才。時々リボンをつけて いると妙にかわいい。しかし、ストラップ をする事多く、女性の特質を備えつつあり ます。 次男 瑞樹は4才。身長が常に-2SD を下回って心配でしたが、七五三では 着物が似合っていました。 三男 馨は2才。この子だけディズニーランド かいたたいで入れ子です。助かります。 大地 遥かとあくまで水と木が満ち、かあさん にとく析りもこめた、名前です。</p>	

氏名	野口 雅之
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>鈴波大の学生6年間、卒業して病院 勤務室レジデンシートリートの2年間、今は28 年間と同じF-4の年数で東京(同郷先 やアーバンオフィス)。今では大学に隸 属するにはないが、自分自身の立派な人間 としてあります。たとえば最近鈴波の 卒業生が「長期研修やリザーブドドクタ ー」についてや「手術技術」についてつぶや く者には仕事に対する機会も出ています。 これから十、20歳の層、交流を深めて 病院の研究、治療への助けあいを中心とした 立派な人間だと思われます。 学生の復讐意識を考えてではなく1年は長い なし、仕事をするには時間が必要になるので 現実に体験してみ今は27歳で何かが背筋 お体に充分気付けて御活躍下さい。</p>	

氏名	平林 審之
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>私は体をこわした(実は頭が走りなかつた?)關係で、背もたれは1年通めて今10年目をむかえてます。この春から半年位した日立の地ではなれ、水海道の某医療会病院に整形外科の医長として勤務していくが、医長として最も2年目の先生とみんさりなで、なかなか充実した日々を送っています。自分としては、脊椎外科を専門だと限らへうるので、日常の診療の中、やしてもううる患者さんでひじ尾ては手術してあります。</p> <p>私は今は、今の秋半々に又世界住宅に建てて、現在東京に住んで、全部で7人家族の夫と娘と孫と娘(つまり子供5人です)</p>	

氏名	藤崎 安明
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>・筑波大で野球に附け暮れ、いつも3月になると、掲示板に自分の名前が張り出されてないか心配していたのです。</p> <p>・卒業して10年なり、今は、故郷で地域医療に貢献しています。地元での信頼度も徐々にはあが、上向いており、地域内にはなくてはならぬ病院になつてあります。スタッフ一同、毎日充実して仕事を頑張っています。</p> <p>・家庭に帰れば、それは馬鹿えいが毎日、引見の父親(もう84歳の年老)をして、威厳を保ちつつ、脳筋ななかで音楽で生きて、手前、ついせりハハにあってしまいます。</p> <p>・毎1回、同窓会には、これからも、やめ太目の体で参加してゆきたいと思います。成田近郊においでとき等は、我が家へお立ち寄り下さい。</p>	

氏名	大久保 理恵
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>医学の道から遠ざかり、三人の子育てにあふくれる、ごく普通の主婦としています。</p> <p>同級生の皆さんがいろいろな方面で活躍されているのを知るにびっくり。頗もしく、とても嬉しい思っています。</p>	

氏名	古川 雄祐
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>卒後無我夢中で113うちになつという間に10年が過ぎてしまふ感想がします。今年の10月から自治医大血液研究部門造血発生の講師となり、研究室、臨床4位の生活をしております。個人的には4月に日本血液学会奨励賞もいたたま良1年でした。今後より一層の努力をいたすことを思っています。宜しくおねがい致します。</p>	

氏名	堀米 仁志
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>平成四年四月一日付をもちまして 筑波大学臨床医学系小児科の 講師に着任しました。県立こども 病院に7年間もいたのですが、まだまだ 大学の生活に慣れて毎日です。 家庭では長女は1年になります、長男は 小学校に入学し、長女の入浴係 を担当しています。</p>	

氏名	松本 正智
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>大学を辞して 小児病院に就職しました。 給料は安いし、王めめて 多忙ではあるけれど、 公私ともに充実して 生活に満足しています。</p>	

氏名	三浦 敏
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>卒業後すぐに他の大学病院 の医局に入局した小生ですが、 筑波大学には近くでモ アリヤレ。OB会やドッヂ会、 はなまたん、バト病院などで 同級生の会や社会も多いの は幸いです。卒後10年も、 もう経ったのかと、(小生は9年で引退) まだまだ、皆さまお元気で ご活躍のようだ。小生も頑張って して頑張る所を誓います。 皆さま 御遠慮なさい。</p>	

氏名	宮川 創平
近況報告・10年に寄せて・その他	
<p>卒業後10年。短かい時で6ヶ月 長く26年 で恥場(病院)をかわしてきました。消防大時代 を含め3×16年間という日々が流れました。 何時進歩していくか、ということを消防士に感じ ます。これからは、このくらいは、と思っていても いかないくらいがいい毎日です。 さらに10年後(50歳を越しますか)はどうか、 いざなう。答えなどないでもいいのです。 最近は少しお持ちでいるおじ 所で、おまかせから、「ゆっくり slow and steady win the race 」 とうかぶつか。</p>	

氏名

向山 潤

## 近況報告・10年に寄せて・その他

消化器外科5年 生保5年にして  
医事研究室という部門に回りました。  
加入者を公平・公正に扱うために 性別・年令  
に応じて 保険料率が 細かくわかれていますが  
日々の健康状態に応じての料率の変更の  
ために 医学的な予後推定が欠かせません。  
既契約が 500万件ほど 集積されていますが  
例えば 血圧 20mmHg の人が 健常人と  
比較して 死率がどの程度違うか 調査・  
調査(た)り、「胃癌」を 告知された人のうち  
何%ほど「胃癌」の混入があるかを調べて  
加入時の選択にフィードバックするようなことが  
仕事の一部です。 500万件の情報が 医学的に  
ランダムアクセスできる 配列には 石、火、水、木、土  
途方に暮れています。 統計・推計学をもう少し  
はじめに 学んでおくべきだと 悔いております。

氏名

明尾庸子

## 近況報告・10年に寄せて・その他

トシはかり重ねてしまい、みな様  
のご活躍を耳にすると度々 身をいたく  
しております  
細々とですが 末梢のところ  
医療(いにしへり) 多少でも  
せのためにならないうかなど。  
思っています

氏名

諦角誠人

## 近況報告・10年に寄せて・その他

卒後、すぐに 川夏天堂大学に行きましたが、  
月後4月には 医局を離れ、起治市立  
病院に勤務しております。10年間の  
医師生活の中で、5年間を占める 現在の  
病院に愛着を感じている頃ですが、  
まだ、ふさわしい感情を心の奥底に  
あるを事実です。 臨床医として生きる  
この道がいいと感りますが、まだ決め  
がたいです。 2~3年のうちにには  
決まると思ってます。 では、何時会  
になつお会いはします。

氏名

山木万里郎

## 近況報告・10年に寄せて・その他

大学卒後、栃木県の自治医大に移り、  
腎臓内科を専攻しています。90年6月  
から留学の機会を得、アメリカ・ミネソタ  
州 ミナエスター市の Mayo Clinic に来  
て 腎生理解を学んでおります。冬期  
には -30℃ はざうの片田舎で、アメリ  
カ生活を楽しんでいます。(つい先日もニュ  
ーヨークのハドソン先生と会いました)  
私生活では 8年間に結婚し 現在は  
2児(どちらも男)の父となり、学会に  
かこつけて アメリカ各地を家族連れて  
旅行していますが、貯金もたいへん減  
りました。 一方 92年12月帰国予定で  
あります。 もしかすると 94年3月まで居かも  
知れん。留学の予定のある方は 連絡下さい。

氏名

村島 溫子

近況報告。10年に寄せて。その他

仕事面では、10年一生懸命やってきて、とうにか格好うつく内科医になったと思ひますから、ゆき2年半り化になりましたが、もう少し新たな刺激をほしい今このところ。

私生活では、今年3月末5年ぶりに待望の第二子を出産し、育児に追いつめ山歩く毎日です。

結婚生活6年のマネリズムもとでやへすっとこんどしまいます。卒業10年、大学生活6年よりずっと長い時間から立ち上げ筑波を離れて省にひとつ大学で21年(1月)は、自分史のほかとても重要な期間です。

筑波下宿のさらなる發展も心からお祈りします。

氏名

湯原 康典

近況報告。10年に寄せて。その他

十年に寄せて

医学は免許を取ったばかりの頃は、手進みで歩いた上には、向かいあらるる方のところへと観察する。それが可能である。それは、現在のところ現用の手法を駆使する。その反対に細胞組織を用いてあるが、それによりX線撮影がある。これが可い。その結果は、ある種のものである。それで、何とかなります。そのままであります。それで、私の頭は、そんなことを考えながら進んでいます。

氏名

湯沢 賢治

近況報告。10年に寄せて。その他

(公) 1991年1月1日付で筑波大学臨床医学系外来(消化器)講師としてやります。臓器移植専門とります。肝移植、腎移植の臨床をめざして準備中です。脳死臓器の活用が出来ましたが、まだまだわれわれ的努力不足でしょうか。1992年12月1日付で岩崎洋治先生の後任として深尾立先生が当系の教授室に就任されました。移植Go, Goです。

(私) 結婚してエ…と、6年。11つのまづ三児の父となっています。(5歳、2歳、0歳男児、男です) 昨年暮、12月21日に三男が生まれたため、にぎやかな毎日です。まずはいいことに子育てはまさかあります。

湯沢 賢治

氏名

三度 久一

近況報告。10年に寄せて。その他

もう筑波では既に5年になります。

① 下宿に来てください

昨年卒業生にあたって

行ながいいでよ。

かば 大学 けんついいのびすか、

## 編集後記

### 「HERZ」のこと

昭和52年ですから我々がM2のころに「HERZ」という冊子が発行されていました。筑波大学医学専門学群、及びその周辺諸機関を構成する人々相互のコミュニケーションの発展をめざすために作られました。学生・技官・看護婦が連絡員となり、編集・発行人の顔ぶれ(桃井・宮・山田・山下・村山)から2回生を中心だったと思われます。まだ創設間もない大学の中で情報交換の貴重な場としての役割を占めました。

3回生のみにかかわる事ではありませんが、その主旨の大部分は昭和56年8月1日創刊のこの桐医会会報に引き継がれているものと思っています。私も「創刊に寄せて」と題して書かせて頂いていますが、その中で同窓会を作ったら、と書いていました。私の手もとには昭和55年6月15日発行の第6号まであります。4年間の編集員の方の御苦労は今日の同窓会の基盤となっているもので感謝に絶えません。

### 最後に

いかがでしたでしょうか、かなり前から準備をした筈でしたが、やはり今一つという感じがします。今後のために、御意見・御感想を聞かせて頂ければ幸いです。

(平成4年12月31日、宮川)

桐医会会報 第33号

発行日 1993年2月12日発行

発行者 山口 高史 編集 桐医会

〒350 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学医学専門学群学生担当気付

印刷・製本 株式会社 イセブ